

保全活動日記 vol.28

2019年1月6日 (日)



● 保全活動実施報告

● 参加人数：36名

● 活動内容：多様性の高い二次草原の復元をめざして、南西側草原エリアの草刈りを行いました。
泉大津高校の生徒や大阪府立大学、近畿大学の学生も活動に参加しました。

● 実施日：2019年1月6日 (日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：晴れ

活動実施場所 (草原化)

草原エリアでは、多様性の高い二次草原の復元を目指して、年2回の頻度を目標にネザサ刈りとクズの除去を行っています。
今回は南西側草原エリアについて、管理事務所などの施設の整備予定地周辺のネザサの刈り取りを行いました。その結果、広がりの感じられる草原になりました。

■ 冬のいきもの発見!



枯れ木のなかで冬眠するコメツクムシ



産卵間近のニホンアカガエル



ナナホシテンドウ

■ ネザサ刈取り



広がりのある風景をつくることができました。



凡例

	活動実施場所		市道
	これまでの活動場所		散策路



繰り返し草刈りを行うことで、次第にネザサの茎は細く、柔らかくなっていることに気づきます。作業もしやすい!

活動後のミーティングで、高校生、大学生から挨拶。「親切に教えていただきありがとうございました! 気持ちよく活動できました」とのことでした。



■竹ベンチプロジェクト企画

「竹ベンチプロジェクト」は、『信太山丘陵市有地で間伐した竹を活用して、休憩できるベンチ作る』という環境保全活動に参加する市民のアイデアから始まったものです。

この春に竹ベンチの試作ができるように、必要な知識や技術などいろいろなことをみんなで学ぶ予定です。



●ロープワーク講座 開催! ～竹ベンチを作るために～

まず、「竹を固定するため、ひもの結び方を学ぶ」から講座がスタートしました。地元のガールスカウトメンバーを講師に招き、結び方（まき結び、インク結び、じゃばらしぼり、角しぼり）を練習しました。

これから竹ベンチづくりに向けて、必要な知識や技術などいろいろなことをみんなで学ぶ予定です。



「コツをつかめば簡単にできる!」との声も。竹ベンチづくりにも応用できるでしょうか? 乞うご期待!

「角しぼり」の結び方



まき結び、角しぼりなど各種の結び方を組み合わせて完成です



講師のガールスカウト大阪府第28団のみなさん



竹ベンチプロジェクトは、SDGs※における自然の活用に準ずる指標に関連しているとの説明がありました。

※SDGs (Sustainable Development Goals の略称) 「持続可能な開発目標」。世界が2016～30年までに達成すべき17分野の国際目標であり、地球環境に配慮しながら持続可能な暮らしや社会を営むための目標。



わかりやすくとても丁寧に教えてくれたガールスカウトチーム

▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、 \ QRコードで読み取り / 市のホームページをご覧ください。

\ 以下のワードで検索 /

信太山丘陵市有地

検索

